

2-2 藤内 今西 2-3 下澤 上西

ヨーロッパの中で日本と同じ島国のイギリス。

また日本は「おもてなし文化」、イギリスは「紳士文化」と文化面でも似ているところがあります。そこでみなさんも知っているイギリスの「祭り」について紹介します！

・Pancake race (パンケーキを運ぶレース)

イギリス各地でレースが開催されている。

参加者はエプロンにスカーフ姿で熱々のパンケーキが入ったフライパンを持ちゴールを目指して走る。

途中で3回(2回)フライパンの中のパンケーキをひっくり返さなければ失格となる。

昔は参加者は主婦のみだったが今は性別関係なく色々な人が参加している。



パンケーキレースの歴史は、1445年までさかのぼる。「苦解の火曜日」に家事に追われていた女性が、ミサの始まりを告げる教会の鐘が響くのを聞き、焼きかけのパンケーキを、フライパンを持ってそのまま大慌てで、教会に駆け込んだことが始まりと言われている。それが15世紀を経た現在もこの伝統は生き続けている。

シュローク・チューズデー(苦解の火曜日)は四旬節の前日に当たり

この40日間は昔から玉子や脂肪や贅沢なものを食べないという習慣になっている。シュローク・チューズデーは「ちとちと祝宴の日」で四旬節で禁じられている食べ物を食べつくす日だ。だから全てが「含まれている」パンケーキになった。



イギリスのフードロス対策

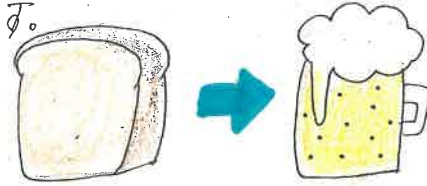
日本だけでなく世界中で問題になっているフードロス。イギリスのフードロスについて調べました。



廃棄用パンをビールに!?! 「Toast Ale」

イギリスで最も多く廃棄されている食品はパンで、生産量の約44%が捨てられています。その廃棄用パンを回収し、ビールに変える「Toast Ale」が行われています。

「Toast Ale」の作り方



- | | | | | |
|-----------------------|----------------------------|--------------|--------------|-----------------|
| 1 パンカーやスーパーからパンを回収する。 | 2 パンを粉刃にして水と大麦を混ぜて70度で煮込む。 | 3 ホップと共に煮込む。 | 4 イーストで発酵する。 | 「Toast Ale」完成!! |
| | | | | |

食品廃棄物ウェディング

2018年、湖岸地方のカンブリアで結婚式を挙げたカップルがイギリスで初めて「食品廃棄物ウェディング」を行いました。

賞味期限が迫った商品や、スーパーで拒否された形の悪い野菜や果物を卸業者やレストランから収集し販売するチェーン店「リアル・ジャンク・フードカフェ」が材料の調達に協力し、当日のメニューは全て、食品廃棄物から作られました。135人の招待客は披露宴のご馳走が食品廃棄物から作られていたという事実にもっとも気付かなかつたと語っています。

今回はパンケーキ祭りとフードロスについて取り上げました。紹介した記事の企業は売れ残りなどで出る廃棄物を使ってフードロスを減らそうと頑張っています。家庭でも食べ残しなどによってフードロスが起きます。皆さんは食べ残ししていませんか？フードロスを減らすために、自分には何かできるのか考えてみましょう。

